

鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催7エリアのうち、
東北 関東 東海
北陸 近畿 中国四国 九州

日時

令和6年3月16日～17日(2日間)

場所

埼玉県横瀬町

受入先

株式会社カリラボ
<https://karilab.co.jp/>



受入先(株式会社カリラボ)QRコード



参加者の声



・解体は全く経験なかったので非常に勉強になったし、横瀬町のICTを利用した罠猟は目から鱗でしたが、何より講師の皆さんや役場の方々と繋がりができたことが一番良かったです。それからワナのシェアも、若い人がワナ猟に参加できるので素晴らしいと思いました。

・今回実際フィールドに足を踏み入れ、実際に罠をかけるならこのような場所という見聞きでき、今後の狩猟への一歩前進ができたように思います。



フィールドワークスケジュール

DAY1 3/16(土)

座学研修

11:00～12:30

横瀬町の鳥獣被害の状況及び対策の取組に関する説明を頂きました。



猟具の実演

14:00～15:00

エアソフトガン及びくくり罠、箱罠等の動作原理・操作方法に関する説明及び受け入れ先関係者による実演の時間となりました。



猟具の操作体験

15:00～16:00

受け入れ先による実演を基に、実演に使われた猟具を参加者が自由に操作する体験型の時間となりました。



解体施設見学

16:00～17:00

解体施設の敷地内を見回りながら、施設全般についての説明を頂きました。



DAY2 3/17(日)

解体体験 10:00～12:30

受入先指導の下、参加者同士で鹿肉を脱骨する時間となりました。終了後は、各部位ごとに切り分ける作業も併せて行いました。



射撃場見学 14:30～16:00

地域の猟友会に所属し活動中の現役ハンターの方々をお招きし、実物の猟銃のを交えながら、狩猟時における射撃の際の注意点に関する説明を頂きました。終了後はハンターの動的射撃の様子を見学しました。

